

倉掛新聞

《発行所》 倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛三
会長/中島順三
《編集》 倉掛自治連合会
倉掛自治連合会
倉掛少年団
倉掛消防分団

1550人受講

市出前講座

正しいゴミ分別学ぶ

倉掛地区民を対象とした家庭ゴミの正しい出し方についての出前講座が六月十五日、市民会館鏡獅子の間で開かれ、約百五十人が受講した。



職員の説明を熱心に聞く倉掛地区の受講者

井原市は今年四月より、容器包装リサイクル法に伴う資源ゴミの分別収集を実施、住民もほとんどは正しい出し方を行っている。

環境課

住民に協力を要請

しかし、慣れない分別に戸惑いや勘違いも見られる

次いで、井原放送制作による正しいゴミ分別のビデオ

「正しい分別で良い環境づくりを」

連合会 中島会長

講座は午後七時より始まり冒頭、自治連合会の中島順三会長が「本日の講座から正しいゴミ分別方法を学び、お互いの気配りで良い生活環境づくりを」と、住民意識の重要性を盛り込み挨拶を行った。

市環境課の岡田明男課長は概要説明の中で「限りある地球資源を守るためのリサイクル。井原市は最も簡単な分別方法を採用した」と、環境問題に対して広範な理解を求め、住民に協力を要請した。

才を約二十五分視聴。予備知識を高めたあと、広井好信主任主事が容器などの現物を示しながら細かい説明を加えた。注意点として、「水洗いされたきれいな容器などがリサイクル可能」「キャップ類は取り除く」などを上げた。

資源ゴミは3種類 井原市は一番簡単な分別



「容器の中は水洗いして下さい」との説明も

「キャップ類は必ず外して下さい」

- ①缶・ビン
- ②ペットボトル
- ③プラスチック類の容器や包装類

受けられるという。九月から二市六町のリサイクルプラザ（笠岡）も稼働する。自治連合会の大坪

副会長は閉会の挨拶で「お互いにマナーを守って住み良い倉掛を築こう」と受講者に呼びかけた。

今年も8トン

自治連合会が側溝の土砂搬送

溝あけ

五月二十一日から八日間、倉掛全域で行った溝掃除の土砂回収が六月四日、各組自治会長と自治連合会

役員との協力で行われた。土のう袋に入れられた土砂の総量は、昨年とほぼ同じ約8トン。市と地元



地域をあげての溝掃除は、最も大切な自治会活動の一つ。写真は駅前大通りで土砂の入った土のう袋を積み込む連合会役員＝倉掛地区15-2組のトマト銀行前

「福祉連絡員」自治会長が兼務

八月臨時総会で依頼

福祉連絡員という新たな役割を、各組自治会長に依頼する運びとなった。

これは高齢化が進む社会にあって、独居老人などに隣近所の人達で気を配ろうという井原市独自のアイデア。日頃の様子と違うなど異変を感じた際には、福祉連絡員が地区の民生児童委員や関係機関へ知らせるシステムだ。

門標で意識付け

倉掛自治連合会は八月末に開く臨時総会で詳細を説明、プラスチック製の門標（縦29センチ×横10センチ）を各組自治会長に渡す予定。片山守地区社協理事は「時代の要請とご理解賜りたい」と述べている。

倉掛で全半焼火災

熱風で消火栓の器具使えず

六月十一日午後八時三十分頃、倉掛十二一組の藤原達一さん宅から出火。付近の住民の通報で消防署や地元消防団が出動し、間もなく消し止められたが、木造二階建ての店舗兼住宅を

全焼、西側の住まいを半焼した。藤原さんは四月より蒜山にパンの店を出した関係で留守。家族に怪我は無かった。昨年六月、藤原さん宅前に消火栓用器具一式を設置していたが、激しい炎で器具箱に近寄れず、使用出来なかった。

ガーデニング教室

さくらの家に30人集う



盛況だったガーデニング教室。さくらの家

六種類の花で寄せ植えを楽しむ

倉掛にある福祉活動拠点、さくらの家で六月一日、ガーデニング教室が開かれ、約三十人が参加した。

この教室は手軽に花の寄せ植えを楽しんでもらおうと授産施設こだま園が、学校関係、婦人会、会社などを対象に開いているもの。当日会場には材料となるゴールドクレスト・ナスターチウム・ペチュニアなど、同園で栽培された六種類の花が持ち込まれた。午前十時より、講師・惣台尚美さんから全体のプランニングや配色について指導を

受けながら、個々の感覚で寄せ植えを行った。参加した倉掛十五一組の田中千恵さんは「皆さんと有意義な一時が過ぎて良かった」と話していた。なお、さくらの家では毎月第一と第三木曜日の午前十時から二時間、こだま園が花の販売を行っている。

短距離で優勝



井原中学校で陸上競技に取り組んでいる倉掛三組の佐能実智男選手が六月六日、第52回井原後月中学校陸上選手権の2年男子百

mで12秒4、同二百mで26秒4と好タイムをマークし、二種目優勝を飾った。続いて十一日に開かれた競技会でも上位に名を連ねた。

親譲りの駿足を誇る佐能選手は小学校時代からサッカーなどスポーツを得意とし、中学では陸上部に所属する二年生。畝川翔選手ら先輩たちを目標として日々練習に励んでいる。

- ◆ 行事予定 ◆
- 7/2 目 連合少年団学区球技大会
 - 7/3 目 井原町夏祭り実行委員会
 - 7/8 目 資源の日 古紙、古着等収集 午前7時30分～9時
 - 7/15 目 防犯パトロール
 - 7/20 目 ラジオ体操 (8/6 まで)
 - 7/22～23 目 倉掛少年団キャンプ (広島県立ふれあいの森)
 - 7/31 目 町民体育祭実行委員会
 - 8/6 目 倉掛少年団公園草取り
 - 8/12 目 資源の日 古紙、古着等収集 午前7時30分～9時
 - 8/13 目 井原町盆踊り大会 (井原小)
 - 8/19 目 防犯パトロール
 - 8/20 目 井原小学校PTA奉仕作業
 - 8/26 目 倉掛自治会臨時総会
 - 9/10 目 井原町敬老会 (井原小)
 - 9/16 目 防犯パトロール
 - 9/24 目 井原町民体育祭&井原小学校運動会 ※大会名は未定 (井小グラウンド)

古紙は20トン

倉掛少年団が廃品回収



皆で協力すれば作業もはかどる＝井原大橋下

倉掛少年団と同育成会が六月十一日に廃品回収を行った。

の親たちと古新聞や雑誌・ビン・空き缶などを元気良く集めて回った。四年の濱田貴之君(十八

ゴミ表示板が一新

地区内集積所へ取り付け

ゴミ集積所の表示板がこのほど一新した。ゴミ分別収集の変更に伴い市が新たに制作したもので、資源ゴミを出す曜日な

どが記されている。倉掛地区内へは計三十枚が自治連合会を通じて配付され、各組自治会長らの手で取り付けられた。

なお古紙は段ボール2ト、新聞9ト、雑誌9トの計約20トだった。次回の廃品回収は十一月十二日の予定。

思い出の一枚

時は昭和四十八年秋。井原小学校の百周年を祝う第73回運動会に参加した倉掛少年団育成会の面々。男性は女性に、女性は男性に仮装して会場を沸かせた。紙面の関係で顔が小さくて、誰が誰だか分かり難い。がしかし、一人ひとりをよく見ると厚化粧に加え、かつら・帽子・ひげ・軍服・眼鏡などを使い、元々分からない様に工夫してあるの

で、ご納得を。左端は十三二組の熊谷辰夫さん、前列左から二人目がこの写真提供者である四組の

山岡淑子さんらしい。「後列中央辺りのこの人は小笠さん、マントを羽織っているのは小谷さん。その横は……」と、笑顔で話す山岡さん。当時を振り返りながら「手作りの少年団活動は、それなりに価値があった様に思う」。

今から二十七年前の「思い出の一枚」も、懐かしさとユーモアに溢れる貴重な写真です。このコーナーでは今後、「思い出の一品」の写真掲載も予定していますので、情報をお寄せ下さい。(倉掛新聞編集委員会)

井小創立100周年運動会

少年団育成会員らが仮装行列



井原中学校で陸上競技に取り組んでいる倉掛三組の佐能実智男選手が六月六日、第52回井原後月中学校陸上選手権の2年男子百

ゴミ集積所の表示板がこのほど一新した。ゴミ分別収集の変更に伴い市が新たに制作したもので、資源ゴミを出す曜日な

どが記されている。倉掛地区内へは計三十枚が自治連合会を通じて配付され、各組自治会長らの手で取り付けられた。